

解 禁	新聞・テレビ・ラジオ
	平成27年10月19日

## 入札監視委員会の審議概要について

### 記者発表資料

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(平成27年度第2回)が、平成27年9月16日(水)に沖縄総合事務局において開催されました。  
審議内容は別紙のとおりです。

平成27年10月19日

沖縄総合事務局

記者発表

沖縄総合事務局記者クラブ

【問い合わせ先】

沖縄総合事務局開発建設部管理課 契約管理官 宇田川 泰彦

契約管理係長 奥間 朝宏

代表 098-866-0031 (内線 2356・2541)

直通 098-866-1981

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(平成27年度第2回) 審議概要

開催日及び場所		平成27年9月16日(水) 沖縄総合事務局 4階 事業審査室	
委員		委員長 井上 章二 (琉球大学農学部教授) 委員 鈴木 啓子 (税理士) 委員 仲地 健 (沖縄国際大学産業情報学部教授) 委員 原 久夫 (琉球大学工学部准教授) 委員 村上 尚子 (弁護士) (委員は50音順:敬称略)	
審議対象期間		平成27年4月1日～平成27年6月30日	
抽出案件		総件数 5 件	(備考)
工事	一般競争 (政府調達)	1 件	○ 入札・契約の状況等、工種別発注状況等並びに指名停止・再度入札の発生状況について報告を行った。
	一般競争	0 件	
	公募型指名競争	0 件	
	工事希望型競争	0 件	
	通常指名競争	0 件	
	随意契約	1 件	
建設コンサルタント業務等		1 件	
役務の提供等及び物品の製造等		2 件	
		意見・質問	回答
委員からの意見・質問、 それに対する回答等		別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容		なし	

(別紙)

意見・質問	回答
<b>定例報告</b>	
1 入札・契約に関する状況等	
2 対象期間における発注案件について	
3 指名停止措置の運用状況	
4 再度入札における工事別一位不動状況	
<b>抽出事案</b>	
<b>1 工事</b> ◆ 那覇空港滑走路増設護岸E工区築造外1件工事(第2次) ○ 今回技術提案を受けてヒアリングを実施していないが、何か理由があるのか。  ◆ 平成27年度港川高架橋下部工(下りP4、P5)工事 ○ 随意契約にした理由で「瑕疵担保責任の所在または範囲が不明確になる」とあるが、実際に責任の範囲が不明確になることがあるのか。	・ ヒアリングは必要に応じて実施することになっており、本護岸工事はこれまで10件以上施工しており、実際の施工状況等を勘案し、ヒアリングは実施せずとも問題なしと判断した。また、工事件数が多いため手続自体を効率的に行うためである。  ・ ニューマチックケーソン工法の場合は、前の施工で作ったものを沈めながら作っていく連続した施工であるため、不具合が生じた際にそれが前に出来たものの不具合なのか、現施工による不具合なのかというところの責任の所在が、受注者が別だと曖昧になるからである。
<b>2 建設コンサルタント業務等</b> ◆ 港湾整備等に係る沿岸気象海象情報の予測情報等提供業務 ○ 競争参加資格の要件で同種業務の実績に当てはまる業者が全国で2社しかないというのは、類似業務の70社に比べて少ない印象を受けるが、このようなものなのか。  ○ 同種業務と類似業務では評価される点数に開きがあるため、類似業務の実績がある業者にも間口を広げてみてはどうか。	・ TECRIS検索結果はそうだが、TECRISは業者がキーワードで登録するため、キーワードに一言一句合致したのが2社で、広い意味では類似業務にも入り込んでいるのではないかと思われる。  ・ 間口を広げるという意味では、平成27年度発注分から、前年度まで求めていた潮位観測について削除、そして同種類似業務の実績を過去10年から過去12年とし、条件の緩和を行っている。
<b>3 役務の提供等及び物品の製造等</b> ◆ 平成27年度全国都市交通特性調査 ○ 業務内容からしても、もう少し入札参加者が増えてもいいのではないか。  ◆ 平成27年度南部国道事務所事業用車両管理業務 ○ 予定価格と落札価格がだいぶ離れているが、国としてどのように予定価格を見積もるかというはあるのか。	・ 概算予定価格に対応する参加資格等級区分における沖縄県内で実績のある業者を調べたところ3社のため、等級区分を下位1段階まで拡大し、地域を九州・沖縄と広げたが、参加者は2社にとどまった。  ・ 予定価格に対して落札価格が低いことは感じている。予定価格は歩掛かりで積算しており、予定価格が高すぎるのではなく、入札参加業者同士で価格競争をしている、という認識である。